

# Morelia viridis - ミドリニシキヘビ

## Green Tree Python

他の呼称： Ular hijau [ウラル・ヒジャウ] (インドネシア)、  
Jamumong [ジャムモン] (バプアニューギニア)、Chondro (英名)

分布： オーストラリア、インドネシア、バプアニューギニア

身体的特徴： 全長：通常 140cm (200cm を超える場合もある)

国際的な保全状況：<sup>α</sup>

**CITES 附属書 II**

**IUCN : LC**

「種の保存法」による指定状況： なし (2013 年 2 月時点)

### 顕著な特徴：

— 頭部はダイヤモンド型で、  
胴部よりずっと幅が広い

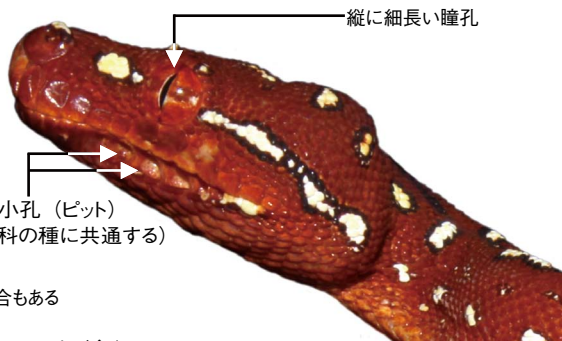
熱を感知する小孔 (ピット)  
(大半のニシキヘビ科の種に共通する)

### 成蛇：

- 通常、葉のような緑色で、青い場合もある
- 黄緑色の斑点がある場合もある
- 背中に白い鱗が不規則に散らばっていることが多く、  
破線または実線になっていることがある
- 腹面は乳白色から黄色

### 幼蛇：

- 黄色かオレンジ色か赤褐色



インドネシアのビアク島の  
ミドリニシキヘビの幼蛇の頭部



ミドリニシキヘビの典型的なとぐろを巻いた休止姿勢



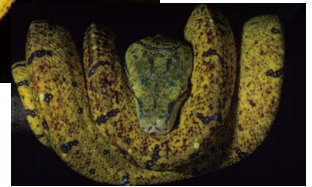
Morelia viridis ミドリニシキヘビ  
Credit: Martin Harvey/WWF-Canon

### 取引形態：生体がペット取引に



黄色い幼蛇

成体の色に変わっている  
途中の黄色い幼蛇



### 類似種：

#### Corallus caninus エメラルドツリーボア

大きさや見た目がミドリニシキヘビによく似ている  
東南アジアではほとんど取引されない

分布：ボリビア、ブラジル、コロンビア、エクアドル、仏領ギアナ、  
ガイアナ、ペルー、スリナム、ベネズエラ

#### Trimeresurus spp. アオハブ属全種



Trimeresurus albolarbris  
シロクチャオハブ

- 頭部が三角形
- 縦に細長い瞳孔

猛毒

全長：最大 128cm  
分布：東南アジア、南アジア、  
東アジアの大半

#### Ahaetulla spp. ツタムチヘビ属全種

- 頭部が三角形
- 吻端がとがっている
- 横に細長い瞳孔
- 体は非常に細く長い

軽度の毒性

全長：最大 200cm  
分布：東南アジア、および  
バングラデシュ、中国、インド



Ahaetulla prasina  
オオアオムチヘビ

All images: Daniel Natusch unless where stated

<sup>α</sup> 現在の保全状況は [www.cites.org](http://www.cites.org) および [www.iucnredlist.org](http://www.iucnredlist.org) にて確認のこと。

December 2012